

# 根来山げんきの森倶楽部

令和4年6月作業日誌



今回は定例活動の昼休憩に第19回総会を行いました。60人近い倶楽部員の方々が参加してくださり、にぎやかな総会になりました。来年は20周年の節目の年になります。

活動日：令和4年6月19日(日) 9:30~15:30 天気：晴れ 倶楽部員：62人

## 園児が楽しめる場所に

漆谷整備…本日は倶楽部員6名で先般報告の漆谷広場で幼稚園児を遊ばせる計画の一環として、子どもたちの休憩時用の長椅子を作りました。

既に活動日以外に有志により運び込まれた幅約30cm、長さ2mの平板4枚（舞台新設の余材）に脚を作り、取り付けました。丸太の伐倒材をチェーンソーで園児用の高さに合わせて20cmに玉切り。それを平板置場まで運び込み、インパクトドリルでねじを取り付けて完成。



4組の長椅子が出来上がりました。園児が広場で走り回り、この椅子で休む姿が近々実現します。残りの工事として、大きな看板用平板へのネーミング入れと取り付けです。

倶楽部2名は、クヌギを植樹した周辺にミツマタを植樹しました。漆谷のクヌギ、漆、もみじも一段と成長しました。新規のミツマタも元気に根付くように期待します。（藤園 満郎）

## 炭窯修理にハッスル



炭窯修理…本日の作業は12名（内女性3名）です。内容は炭窯の修理、炭窯斜面の草刈りです。総会開催の都合で午前中で終了しました。

午後は8名でふれあいの森の尾根のこならの大木をテラ一で沢小屋まで運びました。

炭窯修理の内容は、底の土がなくなったので新しい土を敷き、天井の一部、焚口の一部の補修も行いました。

土を練る作業は大変ですが、たのもしい女性加入もあり、男性陣もつついハッスルして良い汗をかき楽しい作業でした。次回の作業の参加もよろしくお願いいたします。（田端 正弘）



## より安全できれいな遊歩道に

歩道整備…今日の作業は、森のひろばのそばのトイレがあるI地点からあずま屋のあるG地点までの遊歩道の補修作業です。「森のひろば」は「第2駐車場」の新しい名称です。遊歩道の谷側の端は崩れないように丸太や木材を置いて杭を打って崩落を防止していますが、その丸太や木材が朽ちてきています。さらに、最近ではイノシシが餌を求めて遊歩道の端を掘り起こしてデコボコになってきています。

補修方法は、

1. 道の端を少し掘って溝を作る。
2. 丸太や製材の残りの半円状の断面の木材を溝に半分ほど埋め込む。
3. 谷側に新たに杭を打ち込み、丸太や木材が崩落しないよう支える。
4. 道ができるだけ水平になるように地面をならす。

という手順です。

杭、丸太、木材、クワ、かけや、じょれん、チェーンソーなどをテラーに積み込んで総勢8名で現場に向かいました。今日は風が吹かないのでとても蒸し暑く、皆さん汗だくの作業になりました。

補修しないといけない箇所はまだたくさんありますが、無理をせず50メートルほどを補修できたところで今日の作業を終えました。道はとってもきれいになりました。皆さん、大変お疲れさまでした。(堀田 正二)



## 森の集団作業もっと好きに

植樹の下草刈りで手入れ…この日は鎌となたを携え、以前サクラなどを植えた場所に分け入りました。各々が、やや急な斜面をアップ、ダウンする二手に分かれて作業を始めました。草刈りは未経験かつ不慣れだったため、リーダー主導のもと斜面を下り、現場に入りました。倶楽部のメンバーとの同行であれば、普段なら

足を踏み入れることをためらう茂みでも緊張せず、リラックスして作業に取り組みました。私はアウトドアが趣味(山歩き、釣り etc.)で普段、単独で何も考えずに藪こぎをしていました。ですが、今回、「植樹したものがさらに成育してほしいという想い」と「作業中とその後のメンバー間の楽しい会話」

があったので、時が経つのも忘れて作業を体験させていただきました。

使い終わった鎌の研ぎ方もいちから教わり、「森林での集団活動」がこれまで以上に好きになった日でした。(吉川 寛)

早々と梅雨が終わってしまいました。

雨が降らないとキノコも出ません。粘菌も出ません。植樹した苗木も長い長い夏を乗り切ってくれるか心配です。昆虫の観察をしている人たちからは今年虫も少ないと聞きました。サンコウチョウの声も少ないようです。

今年ちょっといつもの夏とは様子が違う夏がやってきそうですが、げんきの森の生き物たちは何十万年も何百万年もこの地で生き続けてきた生き物たちです。暑い夏でも消えてしまうようなことはありません。

私たちも彼らに負けずに、この夏を乗り切りましょう。

岡田 和久